



各報道機関 御中

山梨大学

芥川賞作家・藤野可織氏 講演会開催について

本学教養教育センターでは、下記の通り、芥川賞作家の藤野可織氏をお招きし、特別講演会を開催します。

つきましては、当日取材をしていただきたくご案内いたします。

記

【日時】平成29年12月4日（月）14:50～16:20

【場所】山梨大学 甲府西キャンパス M号館 M-12教室

【演題】「Away from Home -芥川賞作家 藤野可織さんが語る-」

【講師】藤野 可織 氏

1980年、京都府生まれ。小説家。2006年「いやしい鳥」で第103回文学界新人賞、2013年に「爪と目」で第149回芥川龍之介賞、2014年『おはなしして子ちゃん』で第2回フラウ文芸大賞を受賞。そのほかの著書に、『パトロネ』（集英社文庫）、『ぼくは』（フレール館）、『木幡狐』（講談社）、『ファイナルガール』（角川文庫）など。最新刊は『ドレス』（河出書房新社）。今年、アイオワ大学のインターナショナル・ライティング・プログラムに参加した。

【内容】 藤野可織さんは、2006年に文学界新人賞を受賞した「いやしい鳥」でデビュー、2013年には「爪と目」で芥川賞を受賞し、現在活躍中の若手作家です。

学生時代には美学・芸術学を学ばれ、特に写真に興味を持たれたそうです。学芸員を目指したり、会社にお勤めをされた経験もおありですが、「将来はお話を書く人になる」という小さい頃の夢を叶えられ、たくさんの物語を書いてこられました。美学を専攻されていたということもあるのでしょうか、「本」というモノ自体がお好きだという藤野さんの著書は装丁もすてきです。ときに背筋に静かな戦慄が走るような物語が、美しい色あいのおしゃれな本の中におさまって、読まれるのを待っています。

藤野可織ファンにとっては嬉しいことに、この11月に新刊『ドレス』をリリース、ということで、今回のトークでは新しいご本についても語っていただけでしょう。

また、今年の夏から秋、いろいろな国の作家とともに招聘されアイオワ大学のインターナショナル・ライティング・プログラムに参加されたところです。作家の目を通してみる今のアメリカ、異文化体験のお話などもうかがえることでしょう。どうぞお楽しみに！！

(問合せ先)

山梨大学教学支援部教務課共通科目グループ

TEL 055-220-8731

(広報担当)

山梨大学総務部総務課広報企画室

TEL 055-220-8006

- Away from Home -

芥川賞作家 藤野可織さんが語る



2017年12月4日(月)

14:50 ~ 16:20

@山梨大学

甲府西キャンパス M号館

M-12 教室

(お問い合わせ)

山梨大学

教務課共通科目グループ

電話:055-220-8731

藤野可織さんは、2006年に文学界新人賞を受賞した「いやしい鳥」でデビュー、2013年には「爪と目」で芥川賞を受賞し、現在活躍中の若手作家です。学生時代には美学・芸術学を学ばれ、特に写真に興味を持たれたそうです。学芸員を目指したり、会社にお勤めをされた経験もおありですが、「将来はお話を書く人になる」という小さい頃の夢を叶えられ、たくさんの物語を書いてこられました。美学を専攻されていたということもあるのでしょうか、「本」というモノ自体がお好きだという藤野さんの著書は装丁もすてきです。ときに背筋に静かな戦慄が走るような物語が、美しい色あいのおしゃれな本の中におさまって、読まれるのを待っています。藤野可織ファンにとっては嬉しいことに、この11月に新刊『ドレス』をリリース、ということで、今回のトークでは新しいご本についても語っていただけでしょう。また、今年の夏から秋、いろいろな国の作家とともに招聘されアイオワ大学のインターナショナル・ライティング・プログラムに参加されたところです。作家の目を通してみる今のアメリカ、異文化体験のお話などもうかがえることでしょう。どうぞ楽しみにしてください！！